



# 凡事徹底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校  
学校だより  
令和7年度  
第3号（6月号）



## 修学旅行を終えて



校長 椿 智絵

中学校生活も2ヶ月が過ぎ、生徒たちは新しい学年、学級にも慣れ、毎日生き生きと生活しています。授業中のペアやグループ活動の中で友達と相談したり、助け合ったりする姿がたくさん見られるようになりました。気候が安定せず、暑かったり寒かったり調節の難しい日が続きますが、体調管理を万全にし、元気に学校生活を送れるよう、保護者の皆様にはご協力をお願いいたします。

さて、3年生は5月26日～28日まで京都・奈良方面へ修学旅行に行っていました。この時期には珍しく涼しい過ごしやすい天候の中、全行程を予定通り行い、仲間とともにかけがえのない時間を過ごすことができました。修学旅行では、「FINAL～友と「奈良」、「京都」いう日を忘れない～」のスローガンのもと、1日目はクラス別活動で東大寺や宇治平等院を訪れ、2日目はタクシー研習活動で、清水寺や北野天満宮、三十三間堂など自分たちで決めたコースを回り、3日目は、南禅寺と天龍寺に分かれて座禅体験、見学を行いました。京都・奈良は、新緑が美しい季節で、その中で美しい文化や自然に触れることができました。仲間と共に様々な体験をし文化に触れた修学旅行は、生徒たちの大切な思い出の1ページとなる貴重な機会となりました。

私は特に薬師寺でのご住職様のお話しが心に残っています。ご住職様は、ユーモアを交えて中学生にもわかりやすく、また興味を持って話を聞くことができるように工夫してくれていました。お話の最後の方で次のように話されました。

「下を向いてはいけない。顔を上げることが大切。下を向いていると楽しくない。楽しいことも楽しくなくなる。上を向いていれば楽しくなる。どうせなら物事は楽しい方がよい。楽しむためにも、下を向かず、顔を上げていろいろなことに楽しく挑戦しましょう。」

確かに、楽しいことばかりの毎日ではありません。うまくいかないこと、思ったとおりにならないことも多く、下を向きたくなる日もあるでしょう。そんなときほど、上を向き、前向きに振る舞うことが大切なのだと思いました。また、学校のように、集団で行動することが多いところでは、集団の和を大切にするためにも、皆で楽しむということも大事になってくると思いました。

今年の修学旅行の2日目の夜の学年レクが正にそれを体現していました。学年の仲間の発表を盛り上げ、温かく見守り、共に楽しむ3年生の姿がありました。司会の「静かにしてください」の言葉にも比較的素早く反応し、皆で楽しもうとする姿勢がとても素晴らしかったと思います。

これまでも二中学生は行事に真剣に全力で取り組む姿を見せてくれました。良い伝統としていつまでも引き継ぎ続けてほしいと思います。

また、東京駅での修学旅行出発式で「これから多くの人の世話になりながら3日間を過ごします。お世話になる人に大きな声で挨拶ができると良いですね。」と話しました。3年生の皆さんは、話をよく聞いてくれていたようで、挨拶をしっかり行ってくれていて、とても嬉しかったです。ぜひこれからの学校生活の中でも続けてほしいと思います。

そして、6月は、いよいよ学校総合体育大会が始まります。今まで流した汗とそれぞれの想いと絆を胸に、悔いを残すことなく試合に臨んでほしいと思います。負けられないチームは全国で1つだけであり、遅かれ早かれ、敗れる瞬間はやってきます。その時をどんな気持ちで迎えられるか。一つでも多く勝ち進み、目標達成ができることを願っています。二中学生の健闘を祈ります。



### 《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒 (知)  
心豊かで、思いやりのある生徒 (徳)  
たくましく、健やかな生徒 (体)

### 蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671

URL：<http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/>

e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp